

5

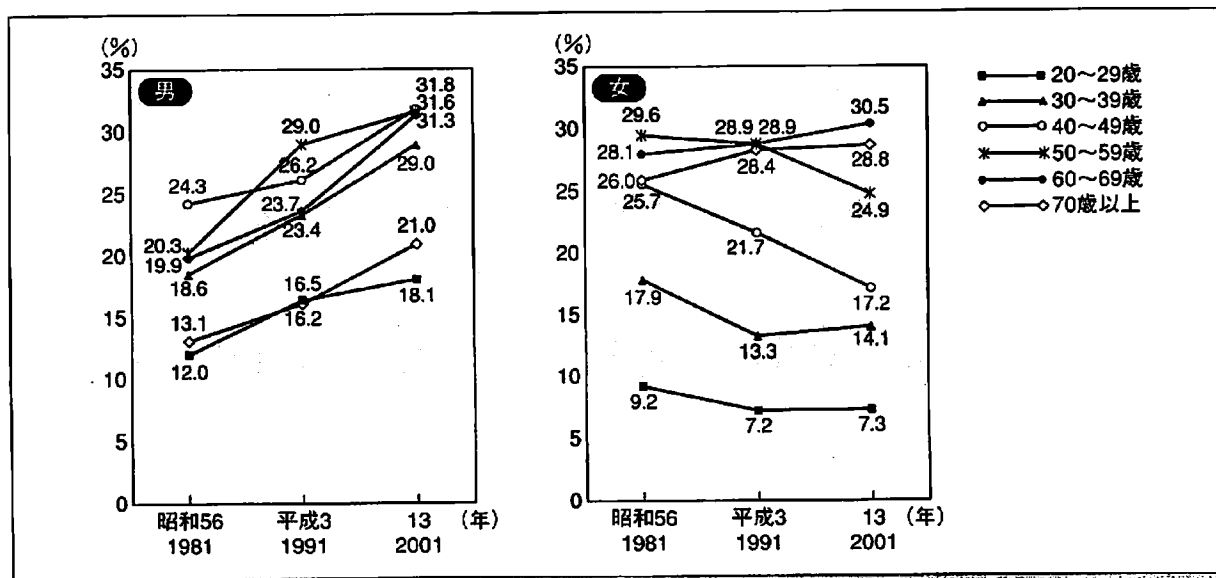
身体状況

肥満者の割合は、男性ではいずれの年代においても、昭和56年、平成3年に比べ増加
一方、若年女性では低体重（やせ）の割合が増加

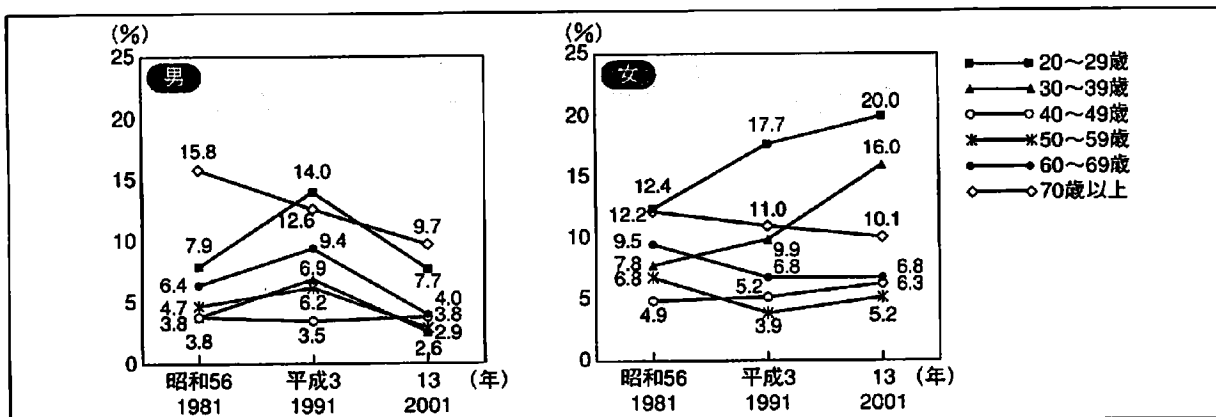
BMI 25以上の者の割合をみると、図34のとおり、男性では30～69歳で約3割であり、いずれの年代においても20年前に比べ約1.5倍増加している。女性では、60歳以上で肥満者の割合が多く、約3割であった。

BMI 18.5未満の者の割合は、図35のとおり、若い女性で増加しており、20～29歳及び30～39歳で20年前の同世代に比べ、1.6倍、2.0倍と増加している。

◆図34◆ 肥満者 (BMI ≥ 25) の割合の年次推移



◆図35◆ やせの者 (BMI < 18.5) の割合の年次推移



最高血圧 140mmHg 以上または最低血圧 90mmHg 以上に区分される者の割合は、60 歳代以上では男女ともに 5 割以上

2000（平成 12）年、日本高血圧学会の分類法を参考に、2 回の血圧測定の前平均値が最高血圧 140mmHg 以上または最低血圧 90mmHg 以上に区分される者の割合は、図 36 に示

すとおりである。最高血圧 140mmHg 以上または最低血圧 90mmHg に区分される者の割合は、男女とも年齢が高いほど高い。

◆図 36◆ 血圧の状況

